

2025年度主要事業

1 主要地方道 宇都宮鹿沼線 飯岡東

- 鹿沼市 千渡～白桑田
- 全体計画／延長:810m
幅員:25m
事業費:約17億円

本路線は、鹿沼市中心部と宇都宮市中心部を結び、鹿沼市の東西軸を形成する重要な道路です。しかし、朝夕の通勤・通学時には交通量が多いにもかかわらず、現道は狭く慢性的な交通渋滞を引き起こしている状態です。このため、4車線化の整備をすることにより交通渋滞の解消を図ると共に、機能的な道路ネットワークを形成し、県央地域の連携を強化します。



5 一般県道 鹿沼環状線 千渡北

- 鹿沼市 千渡
- 全体計画／延長:2,100m
幅員:25m
(うち優先整備区間 延長:1,200m、
事業費:約13億円)

本路線は、鹿沼市における外郭環状を形成する重要な道路です。しかし本工区は、交通量が多いにもかかわらず、現道が狭く歩道の整備されていないため、児童や生徒の安全な通学に支障を来しています。そこで平成26年度から優先整備区間として、北から1,200m区間の西側歩道の整備事業に着手しています。



2 一般県道 板荷玉田線 辺釣

- 鹿沼市 辺釣
- 全体計画／延長:900m
幅員:10.0m
事業費:約27億円

本箇所は東武日光線と急峻な山に挟まれ、幅員狭小で大型車のすれ違いが困難であり、さらには土砂災害警戒区域(土石流、急傾斜)に指定されている地区です。危険区間を迂回するトンネルを整備することにより安全な通行を確保し、利便性及び防災機能の向上を図ります。



6 一級河川 思川 深程

- 鹿沼市 亀和田町～久野
- 全体計画／延長:6,000m
事業費:約40億円

一級河川思川は、その源を足尾山地の地蔵岳に発し、栃木県の中央部を南東に流下し、渡良瀬遊水地に流入する一級河川です。当該区間は、令和元年東日本台風等に伴う記録的な豪雨出水により甚大な被害が発生したことから、築堤及び河道掘削等を実施することにより、早期に地域の安全性の向上を図ります。



3 一級河川 小藪川 楡木町

- 鹿沼市 楡木町
- 全体計画／延長:3,300m
事業費約29億円

一級河川小藪川は、鹿沼市日吉町から鹿沼市街地西部を流下し、一級河川思川に合流する一級河川です。当該区間は、平成25年7月豪雨、平成27年関東・東北豪雨、令和元年東日本台風で浸水被害が発生したことから、河道掘削、護岸整備等により河川断面を広げる整備を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。



7 一般国道121号 天神町

- 鹿沼市 天神町
- 全体計画／延長:360m
幅員:15m
事業費:約15億円

本箇所は、鹿沼市市街地中心部に位置し、交通量が多いにもかかわらず、右折レーンが整備されていないため、慢性的に渋滞を引き起こしています。そのため交差点を改良し、さらに電線類を地中化することにより、交通渋滞を解消し、中心市街地として魅力ある道路空間の創出を図ります。



9 一般国道293号 仁神堂

- 鹿沼市 仁神堂
- 全体計画／延長:750m
幅員:16m
事業費:約20億円

本工区は周辺学校の通学路で、歩行者・自転車が多いにもかかわらず、通行空間が不十分のため、児童や生徒が危険にさらされています。また、一級河川武子川仁神堂橋付近においては、平成27年関東東北豪雨及び令和元年東日本台風の際に、氾濫したこともあり、早期改善が求められています。このため、歩行者・自転車の通行空間を拡大し、児童や生徒の安全・安心を確保するとともに、河川の計画流量を確保した橋梁架替を実施し、災害の再発を防止します。



4 一般国道293号 楡木バイパスⅡ期

- 鹿沼市 下奈良部町～磯町
- 全体計画／延長:3,000m
幅員:22.0m
事業費50億円

本路線は、茨城県日立市を起点とし、栃木県足利市を終点とする栃木県を横断する東西交通の基幹をなす幹線道路であるとともに、緊急輸送道路にも指定されています。令和2年度に完成した楡木バイパスⅠ期工区から鹿沼南バイパス間の整備をすることにより、地域間連携・交流の強化や鹿沼市街地内における渋滞の解消による交通の円滑化等が期待されています。



8 一級河川 武子川 深津

- 鹿沼市 深津～千渡
- 全体計画／延長:4,320m
事業費:約46億円

一級河川武子川は、日光市猪倉地先を源とし、鹿沼市街地東部を流れ、宇都宮市鷺の合町地先で一級河川姿川に合流する河川です。川幅が狭いことから、度々、台風や集中豪雨により家屋や農地等の浸水被害が発生していました。平成27年度から武子川の川幅を広げる整備を重点的に進め、安全で安心できる川づくりを進めています。



10 砂防事業 島田沢

- 鹿沼市 上永野
- 全体計画／砂防堰堤工:1基
渓流保全工:75.6m
事業費:約4.1億円

本箇所は、流域面積1.30km²の土石流危険渓流です。被害想定区域には一般県道上永野下永野線、人家14戸があります。そこで、土砂災害から下流域における集落等を保全するため、平成30年度から砂防事業を実施しています。令和7年度までに、工事完了としています。



11 砂防事業 思川

- 鹿沼市 上粕尾
- 全体計画／床固工:3基
砂防堰堤工:6基
帯工:2基
事業費:約16億円

本箇所は、平成23年度の台風15号に伴う豪雨出水により、沿道の鹿沼足尾線が被災し、孤立集落が発生するなど甚大な被害を受けました。しかしながら、本区間は朝夕の通勤や帰宅時の通過交通及び沿道施設へのアクセスから車が集中し、渋滞が発生している状況であるため、道路拡幅ならびに右折車線の設置を計画しています。



12 一般国道121号 上石川

- 鹿沼市 上石川
- 全体計画／延長:420m
幅員:16.75m
事業費:約5億円

本路線は宇都宮市と鹿沼市を結ぶ幹線道路で、沿道には鹿沼IC、鹿沼工業団地等があり、生活及び工業等を支える重要な道路となっています。しかしながら、本区間は朝夕の通勤や帰宅時の通過交通及び沿道施設へのアクセスから車が集中し、渋滞が発生している状況であるため、道路拡幅ならびに右折車線の設置を計画しています。



13 災害関連緊急砂防事業 片山沢

- 鹿沼市 引田
- 全体計画／砂防堰堤工:1基
事業費:約4.4億円

令和6年8月の豪雨に伴う出水により、片山沢において土石流が発生し、人家1戸と市道に甚大な被害が発生しました。そこで早急に砂防堰堤を設置するため、「災害関連緊急砂防事業」を導入し令和6年度から計画策定に着手し、応急対策が完了しました。今年度は砂防堰堤工事を実施し、年度内の完成を目指します。



14 一般県道 上久我栃木線 本城橋(橋梁補修)

- 鹿沼市 野沢町
- 全体計画／橋長:331.6m
幅員:9.5m
事業費1.2億円

本箇所は1972年に架設された鹿沼市と栃木市西方町を結ぶ鹿沼土木事務所管内で最長の橋梁です。令和3年度に実施された橋梁定期点検において伸縮装置及び上部構造に損傷(遊間異常・亀裂)があることが判明しました。そこで国庫補助事業を活用し、橋梁長寿命化を目的とした補修工事を令和6～8年度の3ヶ年計画で実施します。



18 一級河川 西武子川 下武子町

- 鹿沼市 下武子町
- 全体計画／面積:約4,700m²
事業費:約1.6億円

一級河川西武子川は、鹿沼市下武子町から市街地を流下し、一級河川黒川に合流する河川です。平成27年9月の関東東北豪雨による越水等により周辺地域に浸水等の被害があったことから、同程度の出水に対応するため調節池を整備し、令和6年度までに池本体の工事が完了しました。



2024年度主な成果

15 一般県道 石裂上日向線 上日向

- 鹿沼市 上日向
- 全体計画／延長:1,420m
幅員:12.0m
事業費:約7.9億円

本路線は鹿沼市西部地域から県道鹿沼日光線を経由して鹿沼市中心部を結び、地域の日常生活を支える重要な路線です。しかし、上日向交差点において、県道が変則的に交差していたため、渋滞が発生していました。加えて西小学校の通学路であるにもかかわらず、歩道がなく、通学児童が危険な状態でした。そこで、平成25年度から交差点改良・歩道整備を進め、令和6年度に工事が完了し、安全な交通を確保しました。



16 主要地方道 鹿沼足尾線 上粕尾地内(災害復旧事業)

- 鹿沼市 上粕尾
- 全体計画／延長:30m
事業費:約0.4億円

令和5年6月の豪雨出水により、主要地方道鹿沼足尾線(鹿沼市上粕尾地内)の道路見下げ法面が崩壊しました。このため、早期復旧による民生の安定を図るため、災害復旧事業を実施しました。



17 天満橋側道橋【橋梁補修】

- 鹿沼市 口栗野
- 全体計画／橋長:90.4m
事業費:約0.7億円

本箇所は、鹿沼市口栗野地内に位置する主要地方道鹿沼足尾線の橋梁です。令和3年度に行った橋梁定期点検において上部構造及び支保脚に損傷(塗膜の劣化・腐食)があることが判明しました。そこで国庫補助事業を導入し令和7年3月に補修工事が完了しました。



鹿沼土木事務所管内図

KANUMA CIVIL ENGINEERING OFFICE INFORMATION

